

紙粘土とペーパービーズで大王の勾玉をつくろう

用意するもの

- ・紙ねんど（かわくとかたまるねんどならなんでも OK!）
- ・いろがみ
- ・はば 1.5～2センチ、長さ 25～30 センチくらいの長方形や三角形に切っておく。色のついたチラシでも OK！
- ・たけぐし
- ・たこ糸（細いもの）・ 70 センチの長さのもの 1 本
- ・のり



作り方

（1）紙ねんどをよくこね、勾玉のかたちを作ります。

かっこいいかたちになるように、台の上で作るのではなく、手で持ち上げて、おもてとうらの両方をきれいになでます。

（2）たけぐしでひもとおす穴をあけ、かわかします。

（3）いろがみの、一枚の半分くらいまでのりをぬります。

のりをぬった方のはしっこをたけぐしにあて、のりをぬった部分をくるくるとまきつけます。

まきつけたら、のこりの部分にものりをぬり、さいごまでたけぐしにまきます。

（4）全部のいろがみを（3）のようにまいていきます。

（5）まがたまと、いろがみで作ったビーズを、たこ糸でつなぎます。

（6）たこ糸のはしを、あたまの上からかけられる長さでむすびます。



〈おまけ〉

ふくおかけんのいろいろなところにある「はくぶつかん」というしせつでは、紙ねんど以外のざいりょうで勾玉を作ることができるよ！インターネットでさがしてみよう！

けんきゅうメモ～しらべてみよう！勾玉のひみつ～

○なににつかったもの？

○ほんものの勾玉の材料はなんだろう？

○ほんものはどれくらいの大きさかな？

○ほかになにのような「玉」はあるのかな？

○小郡では、どこで見つかっている？

・・・ほかにも、勾玉にはいろいろな「ひみつ」が・・・

勾玉のいろんな「ひみつ」をしらべたら、
もぞうしやノートに、絵や写真といっしょにまとめて、
〈ジュニア歴史博士〉におうぼしてみよう！
くわしくは、埋蔵文化財調査センターホームページで！



埋文センター
イメージキャラクター「つこっこ」